

(様式4)

# 令和元年度自己評価結果報告書

学校名 湯梨浜町立東郷小学校  
校長名 本田 弘樹 印

## 1. 学校の教育目標

人間性豊かな心と自ら考え正しく判断できる力を培い、心身ともに健やかでたくましい児童の育成

## 2. 本年度に定めた重点的に取り組むことが必要な目標や計画をもとに設定した学校評価の具体的な目標や計画

### ◎経営の重点

○「自分の学びを高めようとする」児童の意欲向上をめざす学校

○特別な支援を必要とする児童の指導に関する研修を積み上げ、一人一人の児童の力を伸ばしていく

- (1) 学ぶ意欲の向上と確かな学力の向上 (学びの力づくり)
- (2) 支え合い高め合う人間関係づくり (豊かな心づくり)
- (3) 健やかな体づくり (健康な体づくり)
- (4) 地域に根ざし開かれた学校づくり (地域との連携・活動の推進)
- (5) 学習指導要領実施に向けた取り組み

## 3. 評価項目の達成及び取組状況

評価項目	結果	理 由
<b>(1) 学ぶ意欲の向上と確かな学力の向上</b> ①算数科を中心とした授業改善の推進  ②基礎学力(漢字・計算など)の定着	B	<b>①【成果】</b> ・全学級で授業研究会を行い、外部から講師を招聘し、継続的な指導助言により授業改善を推進することができた。 ・ユニバーサルデザイン(視覚化・焦点化・共有化)は定着してきている。あとは質を上げること。強化を図ること。(矢部教授からの評価) ・研究主任が核となってレベルの高い研究推進体制がなされた。研究推進日より『繋(つなぐ)』のタイトルどおり、各授業研究が単発で終わらず、会を重ねるごとに全職員の授業力が向上してきたことが実感できた。 ・保護者アンケート⑭「わかりやすく子どもが意欲的に取り組む指導」肯定的回答 90.4%(昨年度 88.4%) ・全国学習状況調査(46)「算数の勉強は好きですか」肯定的回答 69.8%(全国 68.6% 鳥取県 63.1%) <b>【課題】</b> ・子どもが主役である。まだ教師主体的の授業である。子どもの活動となる工夫が必要である。(矢部教授) ・教師の支援はできていたが評価が少ない。おせじではめる必要はないが到達できたら必ず評価を。(矢部教授) ・全国状況調査で算数の学習意欲に関する質問の中で肯定的な回答が少ない項目がある。(50)(51)53 <b>②【成果】</b> ・保護者アンケート⑮「学校は、子どもに基礎的な学力がつく指導を行っている」91.6%(昨 90.7%) ・児童アンケート④「学校の勉強はよくわかる」89.4%(昨 88.7%) ・パワーアップタイムを活用し、漢字、計算、音読、暗唱など、つきたい力を意識した指導ができた。

		<p><b>【課題】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・研究の成果がテストの結果につながりにくい。全国学力テスト算数の平均正答率 66（全国 66.6 県 66）</li> <li>・読解力が不十分で算数も伸びない児童が低学年から見られる。（研究協議）</li> <li>・図形や重さの感覚が弱くなっているように感じる。体験、遊びの不足か？（研究協議）</li> </ul> <p>※今年度から本町は県診断テストの実施なし。（R2 から廃止） ※N R T 結果未着。</p>
<p><b>(2) 支え合い高め合う人間関係づくり</b></p> <p>①自分も友だちも大切にする温かい人間関係にあふれた学級づくりをめざし「学級力」向上の取り組みの工夫改善の推進</p> <p>②特別な支援を必要とする児童の指導に関する研修を積み上げ、一人一人の児童の力を伸ばしていく</p>	B	<p>①<b>【成果】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「学級力」向上の取組について継続して実践し、年間を通して児童に意識化できた。</li> <li>・Q-U 検査で 6 月実施より「学級生活満足群」が増えたのが 12 学級中 11 学級であった。</li> <li>・いじめなどの問題行動に対し、初動を大切にして最優先に関係者が集まりチームで対応する体制ができた。</li> <li>・不登校児童に対し、家庭訪問や関係機関との連携を密にして取り組み、どの児童も学校に登校する回数も増えた。30 日以上欠席の児童が昨年度より 1 名減少したが、継続した支援が必要である。</li> <li>・児童アンケート②「生活や学習について、今の自分より少しでも良くしていこうとしている」<b>91.6%（昨 89.8%）</b></li> <li>・児童アンケート⑤「自分は誰かの役に立っていると感じることがある」<b>73.7%（昨 71.2%）</b></li> </ul> <p><b>【課題】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・児童アンケート⑮「学校にはなかよしの友達がいる」<b>94.9%（昨 97.0%）</b>、</li> <li>・保護者アンケート⑤「お子さんは、学校が楽しいとか仲のよい友達がいるとか言っている」<b>89.9%（昨 92.7%）</b></li> <li>・Q-U の結果が二極化している傾向が見られる。</li> </ul> <p>②<b>【成果】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・支援会議での「見取り」がよい研修の場となっており、保護者や関係者と共有できるという意味が大きい。</li> <li>・外部機関、専門家との連携を図るなどし、個に応じた支援を行うことができた。</li> <li>・特別支援学級担任と支援員の打ち合わせ時間を確保することができ、連携が密になった。</li> <li>・児童アンケート⑯「先生はわたしたちの話をよく聞いてくれる」<b>94.5%（昨 94.4%）</b></li> </ul> <p><b>【課題】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・特別支援コーディネーター（兼教育相談担当）が退職予定で、来年度からの連携の在り方を検討する必要がある。</li> <li>・支援会議及びそれに伴うケース会議・関係者会議が多く、時間外勤務縮減が困難となっている。</li> </ul>
<p><b>(3) 健やかな体づくり</b></p> <p>①自分のめあてを持ち、継続して運動に取り組む意欲と安全意識の向上</p>	A	<p>①<b>【成果】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・児童アンケート⑳「天気の良い日は、休憩時間、外で遊んでいる」<b>71.1%（昨 65.9%）</b></li> <li>・各種大会等での活躍がめざましい。</li> <li>・新体力テストの上体おこし(10/12)、シャトルラン・反復横跳び(8/12)等で全国を上回っている学年が多い。</li> </ul> <p><b>【課題】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・立ち幅跳び(1/12)、握力(3/12)、ソフトボール投げ(4/12)などが全国を下回っている傾向がある。</li> </ul>

<p>②望ましい生活習慣の形成</p>		<p>・大会等の活躍は、若手教師の献身的な指導に頼っているところが大きい。</p> <p>②【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・保護者アンケート①「早寝・早起き・朝ごはんなど、正しい生活習慣が身についている」80.3%(昨77.7%)</li> <li>・保護者アンケート②「お子さんは、元気のよいあいさつや返事ができる」76.9%(昨73.1%)</li> </ul> <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・保護者アンケート③「お子さんは、テレビやゲームの時間を決め、それを守っている」56.7%(昨53.3%)</li> <li>・給食の残菜、食べ方や、授業中の姿勢が気になる児童がいる。</li> </ul>
<p>(4) 地域に根ざし開かれた学校づくり</p> <p>①学校・家庭・地域との連携の推進</p> <p>②学校支援ボランティアの活用</p>	A	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・コミュニティ・スクール2年目となり、学校運営協議会の会長・副会長を核に、地域に根ざし開かれた学校づくりを進めることができた。また、ルックチルドレン隊の参加も増え大変心強い。</li> <li>・読み聞かせやミシン、校外行事の引率等、授業をサポートしていただく体制が確立されている。</li> <li>・学校ホームページ更新年回107回(2/14現在)。</li> </ul> <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・今後学校が学校運営協議会を広める必要がある。そのためには、学校運営協議会における「協議・熟議」の場を設定しなければならない。</li> </ul>
<p>(5) 新学習指導要領実施に向けた取組</p> <p>①新学習指導要領実施に向けた取組</p>	A	<p>①【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・全面実施に先立ち、5,6年生で外国語、3,4年生で外国語活動を先行実施し実践を積み重ねることができた。</li> </ul> <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・基本理念である「主体的・対話的で深い学び」「地域に開かれた学校」というビジョンを構築する必要がある。</li> <li>・プログラミング教育の実施の取組が途上である。</li> </ul>

#### 4. 学校評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果

結 果	理 由
B	<p>昨年度に引き続きの経営の重点として4点を定め、上記のような取組を行ってきた。</p> <p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・保護者アンケートより、本年度の東郷小学校教育について一定の評価をいただいていると捉えている。 (東郷小学校教育の満足度 肯定的回答92.4%(昨年度91.4%))</li> <li>・力量の高い教職員が多かったため、各自の業務を責任もって果たし、協働性も自然と生まれ、全体の学習指導、生徒指導等も着実に向上したと思われる。今後は、教職員のメンバーが変動しても揺るぐことのない学校経営のビジョンを構築する必要がある。</li> </ul> <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・全国学力・学習調査の結果を見ても、自尊感情の低さを示す回答が多い。このことが学習意欲にも大きく関係していると思われる。</li> </ul>

	<p>授業力・学級力を高める取り組みを継続するとともに、児童の意欲・やる気を高める学校づくりを追究する必要がある。</p> <p>(5)自分にはよいところがあると思いますか。 34.9%(県 37.2% 国 38.8%)</p> <p>(7)先生は、分かるまで教えてくれると思いますか。 「当てはまる」が 76.7%(県 58.5% 国 59.5%)</p> <p>(8)将来の夢や目標を持っていますか。 51.2%(県 63.5% 国 65.9%)</p> <p>(10)難しいことでも、失敗を恐れなくて挑戦していますか。 18.6%(県 30.6% 国 30.1%)</p> <p>(50)算数の授業で学習したことを、普段の生活の中で活用できないか考えていますか。 27.9%(県 35.0% 国 41.4%)</p> <p>(53)算数の授業で問題を解くとき、もっと簡単に解く方法がないか考えますか。 32.6%(県 42.4% 国 47.7%)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・現在児童は全体的に落ち着いているが、児童が毎日の学校生活を安心して送れるために、引き続き教職員の危機管理意識を高める体制づくりが必要である。</li> <li>・今後、ベテラン教職員の大量退職と若手の大量採用の時代が到来する。また、来年度から新学習指導要領の完全実施とともに働き方改革が開始となる。「主体的・対話的で深い学び」と「地域に開かれた学校」、教職員の資質能力の向上、質の高い学校の維持とワークライフバランス等課題は山積するが、学校地域協議会で課題を熟議しながら、「東郷」のよさを生かした教育活動を展開したい。</li> </ul>
--	---

◎「3・4」の評価結果の表示方法 A…十分達成されている B…達成されている C…取り組まれているが、成果が十分でない D…取組が不十分である

#### 5. 今後取り組むべき課題

課 題	具体的な取組方法
(1) 学ぶ意欲の向上と確かな学力の向上 (学びの力づくり)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・現研究推進（算数科の研究）の積み上げを生かしながら、「意欲」の向上の推進。</li> <li>・「主体的・対話的で深い学び」「地域に開かれた学校」「プログラミング教育」等の課題も見据え、若手が育つ研究の推進</li> </ul>
(2) 支え合い高め合う人間関係づくり (豊かな心づくり)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「学級力」向上の取組の継続</li> <li>・特別な支援を必要とする児童の指導の工夫改善</li> <li>・児童の自尊感情育成の取組→児童の異学年交流、「遊び」「仕事」の体験等の工夫等</li> <li>・不登校児童等を生まない専門機関との連携</li> <li>・危機管理意識を醸成する職員研修</li> </ul>
(3) 健やかな体づくり (健康な体づくり)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保護者と連携した児童の基本的な生活習慣の改善</li> <li>・東郷小独自の体育指導の検討</li> </ul>
(4) 地域に根ざし開かれた学校づくり (地域との連携・活動の推進)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コミュニティ・スクールの「熟議」を取り入れた学校運営</li> <li>・地域学校協働活動の推進</li> <li>・PTAとの更なる連携</li> </ul>
(5) 学習指導要領実施に向けた取り組み	<ul style="list-style-type: none"> <li>・外国語、外国語活動における教員の指導法の習熟</li> <li>・新学習指導要領カリキュラム完成</li> </ul>

